

新型コロナウイルス感染症調整本部医療部会（第4回）会議録概要

1 日時

令和2年5月20日（木） 19:00～20:40

2 場所

県庁 6階 大会議室

3 出席者

15名

4 主な意見等

(1) 検査体制の状況について

- ・福岡は500万人に対して、536件を検査できる体制。鹿児島に換算してみると206件となるのではないかと。まだ、増やす必要がある。300件くらいは欲しい。

(2) 鹿児島県における感染者の状況について

- ・コロナに関連して、救急患者数は減っているか。

→25～30%ほど減っている

(3) 新型コロナウイルス感染拡大に備えた医療提供体制の整備について

- ・クラスター分析の専門チームが大分県では国から派遣された。このようなシステムは迅速にできるように準備しておく必要がある。パルスオキシメーターの準備も今のうちに必要。
- ・受け入れ病床数については、今回までの調査結果の数が一応確定と見なしてよいのでは。そうであれば、中等症が171床ということになり、これは県内全体で、約1000人の感染者に対応できるということになり、医療体制としてはこれでよいのではと考える。
- ・重症関係者の会議も重要だが、中等症対応の関係者も大事、併せてやった方がよい。
- ・WEB会議での開催を強く要望する。

→中等症を交えた会議は蔓延期にはできなくなるので、今の機会に実施することを考えたい。クラスターに対する助言、事前準備については、感染症チームで現在行っている。

(4) 今後の課題について

- ・各地域での確認・協議も必要だと考える。
- ・帰国者・接触者外来の情報については、消防にも提供してもらいたい。

→地元の郡市医師会とも情報を共有して、議論を進めてもらいたいと考えている。非公表を前提に協力の承諾を頂いているので、先ずはこの点についての承諾を改めて確認する必要がある。